

令和6年度第1回木更津市地域公共交通活性化協議会 会議録

会議の名称	令和6年度第1回木更津市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和6年6月27日(木) 15時00分～16時45分
開催場所	木更津市役所駅前庁舎 防災室・会議室
出席者等	<p>【出席委員】17名</p> <p>石渡 宏 委員(公募委員)</p> <p>高橋 晴樹 委員(日東交通株式会社 運輸部長)</p> <p>深山 宏樹 委員(小湊鉄道株式会社 バス部長)</p> <p>成田 斉 委員(一般社団法人千葉県バス協会 専務理事)</p> <p>轟 朝幸 委員(日本大学理工学部交通システム工学科 教授)</p> <p>高橋 直人 委員(国土交通省関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官)</p> <p>伊藤 昌央 委員(千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長)</p> <p>青井 崇 委員(木更津警察署 交通課長)</p> <p>大澤 一樹 委員(日東交通労働組合 木更津支部副支部長)</p> <p>伊藤 貴夫 委員(君津土木事務所 調整課長)</p> <p>鴫田 宏 委員(富来田地区まちづくり協議会 会長)</p> <p>立松 義徳 委員(イオンモール木更津 渉外部長)</p> <p>神蔵 五月 委員(木更津市議会 交通政策特別委員会 委員長)</p> <p>渡辺 則行 委員(木更津市 企画部長)</p> <p>石井 彰一 委員(木更津市 市民部長)</p> <p>伊藤 昌宏 委員(木更津市 福祉部長)</p> <p>吉田 究 委員(木更津市 都市整備部長)</p> <p>【代理出席】1名</p> <p>坂口 充男 氏(東日本旅客鉄道株式会社 木更津統括センター副所長)</p>

	<p>【欠席委員】 3名</p> <p>泉水 廣己 委員（木更津市区長会連合会 会計）</p> <p>手塚 真一 委員（一般社団法人千葉県タクシー協会 南房支部長）</p> <p>藤井 裕 委員（三井アウトレットパーク木更津 所長）</p> <p>【事務局】 6名</p> <p>企画部（地域政策室）</p> <p>安田次長、鈴木室長、宮澤室次長、平野係長、深野主任主事、田丸事務員</p>
傍聴人数	0人
会議の議題及び 会議資料の内容	<p>【議題】</p> <p>(1) 令和5年度事業報告及び収支決算について</p> <p>(2) 令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について</p> <p>(3) 令和7年度地域間幹線系統確保維持計画について</p> <p>(4) 令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画について</p> <p>【報告事項】</p> <p>(1) 富来田地区自家用有償旅客運送の実施状況について</p> <p>(2) 令和6年度運転のお仕事説明面接会の実施について</p> <p>(3) その他</p> <p>【配布資料】</p> <p>◇次第</p> <p>◇席次表</p> <p>◇委員名簿</p> <p>◇木更津市地域公共交通活性化協議会規約</p> <p>◇資料1：令和5年度事業報告及び収支決算について</p> <p>◇資料2：令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について</p> <p>◇資料3：令和7年度地域間幹線系統確保維持計画について</p> <p>◇資料4：令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画について</p> <p>◇資料5：富来田地区自家用有償旅客運送の実施状況について</p> <p>◇資料6：令和6年度運転のお仕事説明面接会の実施について</p> <p>◇参考資料：木更津市地域公共交通計画（概要版）</p>
議事の経過及び 発言の要旨	別紙のとおり

別紙 会議録

事務局	<p>只今から令和6年度第1回木更津市地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。</p> <p>本日はご多用のところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。木更津市地域政策室の平野と申します。</p> <p>よろしくお願い申し上げます。</p> <p>まず、各団体の委員の変更についてご報告いたします。</p> <p>千葉県総合企画部交通計画課の企画調整班長の小松様から同課地域公共交通担当課長の伊藤様に、</p> <p>続いて、木更津警察署 交通課長の佐川様が青井様に、</p> <p>続いて、君津土木事務所調整課長の保田様が伊藤様に、</p> <p>続いて、イオンモール木更津 営業マネージャーの影山様から渉外部長の立松様に</p> <p>続いて、三井アウトレットパーク木更津所長の中村様が藤井様に</p> <p>続いて、木更津市企画部長の石井が渡辺に</p> <p>続いて、木更津市福祉部長の清水が伊藤に変更となりました。</p> <p>また、事務局の職員も人事異動により変更となりましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>企画部次長の安田でございます。</p> <p>地域政策室次長の宮澤でございます。</p> <p>最後に地域政策室 公共交通係長の平野でございます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、本日、JR東日本 木更津統括センターの山口委員の代理として坂口様が出席となっております。</p> <p>次に、本日欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告いたしま</p>
-----	--

す。

木更津市区長会連合会の泉水委員、

千葉県タクシー協会の手塚委員、

三井アウトレットパーク木更津の藤井委員

以上の3名が欠席となります。

次に、本日の会議につきましては、協議会規約第9条第2項の規定により、委員の過半数が出席しておりますことから、会議が成立していることをご報告させていただきます。

また、本会議は協議会規約等の規定により、原則、公開で行うこととなり、会議録及び会議資料も公開となりますので、ご承知おきください。

それではまず、事前送付にてお配りしております資料のご確認をさせていただきます。

#### 会議次第、席次表、委員名簿、協議会規約

資料1：令和5年度事業報告及び収支決算について

資料2：令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について

資料3：令和7年度地域間幹線系統確保維持計画について

資料4：令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画について

資料5：富来田地区自家用有償旅客運送の実施状況について

資料6：令和6年度運転のお仕事説明面接会の実施について

参考資料：木更津市地域公共交通計画（概要版）

をお配りしております。

資料の配付漏れ等ございましたら、お申し出ください。

よろしいでしょうか。

それでは、会議の開催にあたりまして、木更津市地域公共交通活性化協議会会長であります日本大学 理工学部 交通システム工学科 教授 轟 朝幸 様から一言ご挨拶をお願いいたします。

<p>轟会長</p>	<p>皆様こんにちは。</p> <p>会長を務めさせていただいております日本大学の轟でございます。</p> <p>本日はご多用の中、ご参加いただきありがとうございます。</p> <p>今年度第1回目の開催ということで、本年度から新たにご出席いただいた方々もいらっしゃいます。</p> <p>公共交通分野においては、運転士不足や物価高騰等の困難な局面に立たされていることと拝察いたします。市民生活を支える地域公共交通のため、皆様方と課題を共有し、地域公共交通計画に沿った事業の進行のために活発な意見交換ができたかと考えておりますので、今年度もどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>さて、本日の協議会は、今年度第1回ということで、昨年度の事業報告や今年度の予算案など4件の議題についてご協議いただきます。その他報告事項などを含めて、円滑な会議運営にご協力いただければと思います。</p> <p>どうぞ、よろしく願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>轟会長ありがとうございます。なお、本日の協議会について、傍聴者はございませんのでご報告いたします。</p> <p>それでは、お配りしております次第により進行をさせていただきます。次第の「3議題」に入らせていただきます。</p> <p>議事進行につきましては、本協議会規約第9条第1項の規定によりまして、会長が議長となるとありますので、轟会長よろしく願いいたします。</p>
<p>轟会長</p>	<p>それでは改めてよろしく願いいたします。</p> <p>はじめに、「3議題」となります。それでは、議題(1)「令和5年度事業報告及び収支決算について」、事務局から説明をお願いいたし</p>

	ます。
事務局	資料1に基づき説明
轟会長	ありがとうございました。 決算について報告がありましたので、監査委員を代表して、石渡委員から収支決算について監査報告をお願いいたします。
石渡委員	木更津市の地域公共交通活性化協議会、監査委員を代表しまして報告いたします。 令和6年4月26日に令和5年度の木更津市地域公共交通活性化協議会の歳入歳出決算を帳簿及び証憑書類と照合しまして、監査の結果、決算書が適正であることを認めましたので報告いたします。
轟会長	詳細に精査いただき、監査報告いただきました。 それではご質問ご意見ございましたら、受け付けたいと思います。
成田委員	事業報告について確認させてください。 書面開催となった第2回木更津市地域公共交通活性化協議会の議題 (2) 木更津市地域公共交通活性化協議会規約の改正と、運賃協議会分科会について補足説明がありました。 改正後の地域公共交通活性化協議会の規約が別途配布されていて、第12条が運賃協議分科会に関する内容で、条文が引用されて記載されています。 例えば、運賃協議分科会の会長は、第7条2項10号の委員をもって充てるとありますが、第7条2項10号の委員は「木更津市長またはその指名する者。」という表現になっています。 しかし今日いただいた資料では、運賃協議会分科会の構成員が明確に説明されていません。

<p>事務局</p>	<p>例えば、分科会の会長がどなたになるのか、そして、運営に関する必要事項は決まっているのか教えていただけたらと思います。</p> <p>また、関東運輸局の資料を見ますと、複数の事業者がいるときは個別に分科会の開催をする必要があるとされています。地域公共交通活性化協議会とは別に開催するものであり、さらに分科会開催の協議会本会への事前通知や結果報告の必要もあることから事務局の運営事務も煩雑になってくると思います。</p> <p>その辺りについての対処方法について教えてください。</p> <p>本市では取り急ぎ運賃協議会分科会の開催が必要となる事案はないため、具体的な運賃協議分科会の運営方法等については現時点では定めておりませんが、今後、分科会を開催するにあたっては別途定めていきたいと考えております。</p> <p>また、会長を誰が務めるかということについては、木更津市の職員を会長として、運賃分科会を開催することを想定しております。</p> <p>また、複数の事業者ごとに分科会を行うことの事務の煩雑については、国からは地域公共交通活性化協議会と同日開催とすることや、場合によっては書面開催とする等の対応により、事業者や事務局の事務手続きの削減を図るよう助言がありました。</p> <p>今後、協議運賃が導入される場合には、開催方法について、十分な検討を進めていきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
<p>成田委員</p>	<p>現時点で運賃協議会の運営に関する必要事項は定められていないということですので、関東運輸局のアドバイスも理解されていることを踏まえて、あえて申し上げさせていただきます。</p> <p>運賃協議会はパブリックコメントにより住民意見の反映を図ることが定められており重要な要因となっていますが、パブリックコメントを行う前に協議運賃決定の手続きの流れを整理していただい</p>

	<p>て、さらに、協議運賃の対象となる路線のルートや、輸送量等の運行計画を確定させることにより必要経費を明確にさせていただいたうえで、運賃決定の過程を示していただくことが必要だと考えています。</p> <p>運賃協議会分科会の委員も、地域公共交通活性化協議会の委員も、詳細な運行計画がないと具体的な運賃について判断できません。例えば、運賃 100 円でパブリックコメントを行ったとしても運賃 100 円ありきが根拠では到底納得できるものではなく、関東運輸局から再協議を求められる可能性もあると思います。</p> <p>また、協議運賃により運行されるバスが周辺の路線バスやタクシーや鉄道にも影響を与えることも考えられるので、そういった事業者に対して、協議運賃の決定プロセスの情報共有は非常に重要になってくると思います。</p> <p>そのような面から、規約上では「運賃協議会分科会の運営その他必要事項は、会長が別に定める。」とありますが運賃協議会分科会が実施される前には、地域公共交通活性化協議会で協議されることが望ましいと考えます。</p> <p>事務局のご意見を伺わせてください。</p>
事務局	<p>委員のおっしゃる通り、運賃ありきのパブリックコメントや協議ではなく、各委員に対しても、バスの運行計画等を明確にしたうえで運賃協議会分科会の開催を行いたいと思います。</p> <p>また、運賃協議会分科会の協議フローチャートも明確にすべきというご意見もありましたが、今後、地域公共交通活性化協議会でお示しできるよう準備を進めていければと思います。</p>
轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>新しい協議運賃制度の手順は大変難しいと思います。</p>

	<p>順番を間違えると本当に手戻りがあると思いますから、フローチャートスケジュール、会議体のスケジュール等とあわせて、事前に検討しておいていただければと思います。</p> <p>今のところは協議がないということは、理解いたしました。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>ご異議なければ事業報告とそれと決算収支決算について、承認とさせていただきますがよろしいでしょうか。</p>
一同	異議なし
轟会長	<p>では続いて議題(2)「令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について」です。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	資料2に基づき説明
轟会長	<p>地域公共交通計画の概要版も配布いただいておりますので、それも参考にさせていただきながら、確認をいただければと思います。</p> <p>地域公共交通計画の進行管理も今後行うということでした。</p> <p>それでは皆さんからご意見いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
成田委員	<p>令和6年度事業計画と協議会スケジュールについてお伺いさせていただきます。</p> <p>令和5年3月に地域公共交通計画が策定され、今年度は2年目ということで大きな方針変更がなければ令和7年度の事業計画も大きく変わらないものと推察いたします。</p>

	<p>令和6年度の第3回協議会が2月頃予定ということであれば、令和7年度の事業計画案を協議会に示した中で、各委員からアドバイスをいただいて、事業計画に修正があれば、その内容を反映するなど、切れ目のないよう事業が円滑に進んでいけば木更津市にとっても有効だと思われます。</p> <p>状況により、開催時期や回数については変更されるとのご説明でしたが、私が千葉県バス協会として出席させていただいている半分以上の公共交通活性化協議会は、年度末に次年度事業計画案を協議会に諮って、公共交通計画の進行管理をしている例があります。</p> <p>やり方としては、公共交通計画の事業スケジュール表の配付や、次年度事業計画案を示すなど様々ですが、検討いただけたらと思いますので、事務局の考えを伺いたいと思います。</p>
事務局	<p>委員のおっしゃる通り7年度のスケジュールについては、なるべく早く皆様にお示しできるよう、検討を進めたいと思います。</p>
轟会長	<p>次年度事業計画案と公共交通計画事業の方向修正のあり方についてのご意見でした。</p> <p>年度が始まってなるべく早く第1回協議会を開催することや、前年度の3月頃に開催する等が考えられると思います。</p> <p>その他に、ご意見やご質問はございますでしょうか。</p>
神蔵委員	<p>予算案の通信運搬費についてですが、切手代の値上げが予定されていると思います。</p> <p>一方で令和6年度協議会スケジュールは3回となっており、前年度より1回多く予定されております。この辺りは何か工夫されているのでしょうか。</p>

事務局	<p>通信運搬費についてですが、委員皆様に対しての協議会開催通知については、行政関係や法人の皆様等メールアドレスを把握している方々には、郵便ではなくメールにて通知させていただいております。</p> <p>今後、協議会資料の事前送付につきましても、簡易な資料等があった場合は、電子メールにて皆様に、送付させていただければと考えております。</p>
轟会長	<p>その他に、ご意見やご質問はございますでしょうか。</p>
石渡委員	<p>地域公共交通の情報収集について教えてください。</p> <p>働き方改革等の社会の変化もあって、地域公共交通活性化がなかなか振るわないということが新聞等で報じられているのを目にしています。</p> <p>また、各地域で様々な公共交通施策がなされているとニュース等でも見かけます、本市では、公共交通施策に対してはどのようにして研修というか、他地域を参考にしたり、または調べたりして、地域の公共交通を活性化しようとしているのかお聞かせください。</p>
事務局	<p>他地域の公共交通施策については、報道等を通じて先進的な事例の情報収集をしております。例えば、最近だと日本版ライドシェアや交通空白地の解消についての施策や制度について、情報収集のうえで学んでいるところです。</p> <p>他地域の先進事例が木更津市に当てはまるかどうかの見極めも必要となりますが、情報収集は続けていきたいと考えております。</p>
轟会長	<p>広く情報収集しているということでした。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>その他に、ご意見やご質問はございますでしょうか。</p>

<p>轟会長</p>	<p>私からもお聞きしたいのですが、予算案について教えてください。補助金関連ですけど、補助金は協議会に入るように、変更されたという認識持っているのですが、今回の予算案の中に含まれていないと見受けられるので、補助金の取扱いについて教えていただけたらと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>会長のおっしゃった通り、議題として上げている2件の補助金、フィーダー系統、地域間幹線系統のうちフィーダー系統については、協議会が納入者となっております。</p> <p>交付額については、令和5年10月1日から令和6年9月30までの運行期間の1年間の運行実績をもって、交付申請することになりますので、まだ具体的な金額が不明であることから、この予算案の収入にフィーダー系統補助金の記載はしておりません。</p> <p>なお、令和6年度決算報告時には補助金額が確定しておりますのでそこには記載をするように考えております。</p>
<p>轟会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
<p>成田委員</p>	<p>会長の質問に関連してお聞かせください。</p> <p>3ページの予算案について、フィーダー補助金は9月末の金額をもって今後金額入ってくるということは理解いたしました。今回の予算案の修正を求めているわけではないのですが、フィーダー補助金に関する収入科目と支出科目についてご説明いただきたいのと、今後の協議会開催時に補正予算案についての協議を行うことも考えられると思います。</p> <p>この2点について伺わせていただけたらと思います。</p>

事務局	<p>フィーダー補助金の収入支出に関する科目については、令和5年度決算と同様の科目になりますので、収入の部は「1 負担金・補助金」に、「(2)補助金」として科目を設定いたします。</p> <p>そして、支出の部でも令和5年度決算と同様に「補助金」として記載をするような形になります。</p> <p>こちらについては、9月の運行結果をもって10月末頃には交付申請に入りますので、概ねの予算というのはその頃に決まってくるかと思しますので、具体的な協議方法は検討させていただきたいんですが、11月頃を予定している第2回協議会の頃には補正予算案についてお諮りさせていただけたらと考えております。</p>
轟会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>第2回協議会の議題として皆様に示していただくのがよろしいかなと思いました。</p> <p>それでは、「令和6年度の事業計画及び予算について」ご異議なければ承認とさせていただきますがよろしいでしょうか。</p>
一同	<p>異議なし</p>
轟会長	<p>続きまして、議題(3)「令和7年度地域間幹線系統確保維持計画について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>資料3に基づき説明</p>
轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ご質問ご意見ございましたらお願いいたします。</p>

<p>成田委員</p>	<p>地域間幹線系統の申請については、今年度から地域公共交通活性化協議会で事前に審査をすることとなったということで、具体的な数値は各委員も初めて見られる方も多いと思います。この地域間幹線系統確保維持補助金の受給は一定の制限があるというふうに伺っています。</p> <p>今回の説明では、9本のバス路線は国と県で補助を受けて木更津市や複数の沿線自治体で維持をするということでした。</p> <p>今回初めて聞く委員の方もいらっしゃると思いますので、地域間幹線系統確保維持補助金の補助条件がどのようになっている、その基準に対して9本の対象路線の運行計画の数値の評価について補足して説明いただけると、より理解が深まると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、補助対象路線の要件についてですが、「複数市町村にまたがるもの」、「1日当たりの計画運行回数が3回以上のもの」、「1日当たりの輸送量が15人～150人と見込まれるもの」、「経常収益の見込み額が経常費用の見込み額の20分の11以上の系統」、「キロ程が10km以上のもの」となっております。</p> <p>次に、9本の対象路線の評価についてですが、令和7年度運行計画においては、令和3年から5年度までの3か年の実績値を用いて算出している「計画平均乗車密度」によって判断できると考えております。</p> <p>なお、乗車密度という指数は、数値が大きくなるほど1便当たりの利用者数が多くなるので、利用実態が測れるものです。</p> <p>資料の10ページに「計画平均乗車密度」の記載があり、馬来田線、三島線の数値が低くなっており、計画輸送量の数値が最低条件の15人に近くなっていることがわかります。</p>

<p>轟会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>基準を満たさないと補助の対象にならないということで、現状としては、厳しいながらも条件を満たしているということを理解いたしました。</p> <p>補助対象から外れてしまうと路線を維持していくことが難しくなるということをしっかりと認識したうえで、活性化のための施策を検討いただければと思います。</p> <p>それでは、「令和7年度地域間幹線系統確保維持計画について」ご異議なければ承認とさせていただきますがよろしいでしょうか。</p>
<p>一同</p>	<p>異議なし</p>
<p>轟会長</p>	<p>続きまして、議題(4)「令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料4に基づき説明</p>
<p>轟会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>皆さんからご意見やご質問いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>成田委員</p>	<p>先ほどの地域間幹線系統確保維持計画と同様に何か基準があるのでしょうか。補足説明いただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほどの地域間幹線系統が複数市町村を跨る主要なバス路線であり、一方でフィーダー系統は、その主要なバス路線に繋がるための支線という位置付けになっております。</p> <p>支線として位置付けられているかが要件となっております、ふく</p>

<p>轟会長</p>	<p>ちゃんバスは地域間幹線系統の路線バス姉ヶ崎線と、馬来田線と接続するという要件を満たしております。</p> <p>また、計画運行回数に対する実績の運行回数の運行割合が30%以上ある系統という条件もありますが、こちらも要件を満たしております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>6 ページの「地域内フィーダー系統の基準の基準適合」欄に書かれているものと理解いたしました。</p> <p>その他にご質問はありますか。</p>
<p>伊藤(昌)委員</p>	<p>1点教えてください。</p> <p>ふくちゃんバスの実施主体については、資料1ページには富来田地区住民が開始したというような表現がありまして、2ページにも、「目標を達成するために行う事業及び実施主体」に、富来田地区地区まちづくり協議会と書かれております。ふくちゃんバスの運行について、市と富来田地区まちづくり協議会の関係について教えていただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ふくちゃんバスの運行主体については、富来田地区のまちづくり協議会になっておりまして、地域運行の自家用有償旅客運送の形態をとっております。</p> <p>また、デマンド交通という形式で決められた曜日に運行しており、運行ドライバーについても、地域の皆様が担っていただいております。</p>
<p>轟会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他ご質問はいかがでしょうか。</p>

<p>成田委員</p>	<p>フィーダー系統補助の申請内容について異論はないのですが、このフィーダー補助は、地域間幹線系統と接続することによって、国の補助対象となるという要件があるということですので、1点申し上げさせていただきます。</p> <p>フィーダー系統に接続している地域間幹線系統が場合によって輸送量が基準を下回った場合、このフィーダー系統自体も補助対象から外れるということが考えられます。</p> <p>ふくちゃんバス運行の目的・必要性を見ると、病院や買い物の交通手段の確保ということがあり、また、一部地域間幹線系統とのバス停による接続もあるという内容になっております。</p> <p>これからもこうした国の補助を受けて、運行を継続していくに際し、こうした地域間幹線系統とふくちゃんバスの乗り継ぎ実績に関する情報があるとお互いの補助事業に生きてくると思います。</p> <p>また、この補助制度は輸送量の基準を下回ると補助対象外となるわけですから、対象から外れてしまってから対応策を検討すると遅いと思います。</p> <p>1つの指標として、乗り継ぎの情報があるとよいかと考えられるのですが、この辺の情報は日東交通、もしくは、富来田地区まちづくり協議会や市の方で把握しているのか、または、年に1回とか調査をするというようなお考えがあればお伺いできればと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域間幹線系統とふくちゃんバスの接続についてですが、資料8ページの地図上に5つのバス停で接続されております。各バス停で何人が乗り継ぎをしているというデータは市では把握をしていないので、今後、富来田地区まちづくり協議会と連携して情報収集を行ってまいります。</p> <p>なお、地域間幹線系統の路線バスではないのですが、JR馬来田駅前のバス停には千葉駅方面行き的高速バスも接続しており、ふくち</p>

<p>成田委員</p>	<p>ゃんバス利用者が乗り継いだ実績があることを把握しております。</p> <p>地域公共交通計画事業として、交通空白地における新たな交通システムや、デマンド交通等の新たなモビリティサービスの検討とありますが、地域間幹線系統の輸送需要と同じようなサービス形態であると、影響を受ける可能性もあると思います。</p> <p>そういう意味で、市の方で高速バスの乗り継ぎも含め、様々な輸送サービスが出てきた時も地域間幹線系統への影響というものを正確に把握していないと、万が一にも国と県の補助要件の基準を下回ってしまっただけからでは、どうしようもなくなってしまうわけです。そうならないように、情報の把握と正確な見直しを行いながら計画事業の推進を図っていただけたらと思います。</p>
<p>轟会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ご指摘の通り、輸送サービスの需要を増やすことの検討はもちろんですが、輸送サービス間の乗り継ぎ等の情報提供を上手くできれば新しい需要が生み出せると思いますので、公共交通ネットワーク全体を見て計画事業の推進をしなければならないと思いました。</p> <p>事務局の方でもぜひそういったところを注目して、分析なり或いは施策の展開していただければと思います。</p> <p>それでは、承認とさせていただきますよろしいでしょうか。</p>
<p>一同</p>	<p>異議なし</p>
<p>轟会長</p>	<p>以上で「3 議題」が終了となります。</p> <p>続きまして、「4 報告事項」に移ります。</p> <p>質問は報告事項が全て終わりましたらお願いいたします。</p> <p>それでは、報告事項(1)「富来田地区自家用有償旅客運送の実施状況</p>

	<p>について」事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料 5 に基づき説明</p>
轟会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、富来田地区まちづくり協議会の鴫田委員からも、補足説明をお願いいたします。</p>
鴫田委員	<p>鴫田委員より補足説明</p>
轟会長	<p>利用者の評判は大変良いんですが運営は大変苦労されてるというお話をいただきました。</p> <p>乗り合い率を上げるための改善ができたらと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では先ほど申し上げましたとおり質問、ご意見等はまた後程まとめていただきたいと思いますので、続いての報告です。</p> <p>報告事項(2) 令和 6 年度運転運転のお仕事説明面接会の実施についてです。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料 6 に基づき説明</p>
轟会長	<p>ではこの件、に関しては交通事業者さんからも補足説明いただきたいと思います。</p>
各委員	<p>日東交通 高橋委員、小湊鉄道 深山委員より補足説明</p>
轟会長	<p>運転士の確保は全国的な大きな問題になっております。</p>

	<p>事業者さんだけでなく、行政も含めて各委員の皆様のお力添えもいただきながら支援をしていかなければと思っております。</p> <p>それではそれでは、「(3)その他」ですが、委員の皆様から何かご報告事項はございますでしょうか。</p>
伊藤(昌)委員	<p>千葉県交通計画の伊藤と申します。この場をお借りしまして、県からお願いをさせていただきます。</p> <p>本日鉄道事業者や、道路管理者の方々もいらっしゃいますので、関係者の皆様へのお願いとなります。</p> <p>今年の4月に、群馬県の高崎市において、警報器遮断器がない第4種踏切の事故で、小学校4年生の女児が電車で跳ねられて、亡くなるという大変痛ましい事故が起きました。</p> <p>皆様ご存じかと思いますが、木更津市におきましても、市内に1ヶ所踏切があるというふうに承知しております。</p> <p>なかなか費用の問題ですとか、住民の理解を得るといった課題もありますので、すぐに警報機や遮断機設置するっていうのは難しいかとは思いますが、現場の状況を今一度ご確認いただいて、例えば注意喚起が不十分だという箇所がありましたら、看板を設置していただく等の安全対策に、今一度ご留意をいただければありがたいというふうに考えております。</p>
轟会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>木更津市内に1箇所あるということです。</p> <p>ぜひ注意喚起等にご協力をいただきますようお願いいたします。</p> <p>その他に皆様から報告事項等ございますか。</p>
JR 木更津駅 坂口様	<p>JR東日本木更津駅の坂口と申します。</p>

	<p>京葉線のことについてお話をさせていただきます。</p> <p>皆様には大変ご心配をおかけして大変申し訳ございませんでした。報道等プレス発表でもありますように9月1日に時刻変更という形で一部の各駅停車を快速に変更させていただきます。</p> <p>内房線については朝の上り一本、夜の下り一本が快速に変更となりまして、発着時刻を申し上げますと、上り列車の上総湊発時刻が6時56分、木更津到着が7時22分、岩根到着7時26分、東京到着が8時43分に到着となります。</p> <p>一方、下り列車については、東京発20時03分の快速列車が君津行きとなっております、岩根到着が21時20分、木更津到着が21時25分、君津到着が21時33分となっております。</p> <p>以上が内房線に関わる京葉線快速列車の変更内容となっております。ご承知おきいただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>轟会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ニュース等でも話題になっていた件で、あちらを立てればこちらがたたずという状況であり難しいところもありますが、ご説明いただきました。</p>
<p>石渡委員</p>	<p>その他に皆様から報告事項等ございますか。</p> <p>市民として、公共交通利用者の立場から非常に心温まる体験をしましたので申し上げます。</p> <p>日東交通さんの運輸部の対応で非常に心温まることができました。</p> <p>私はJR内房線を利用する時、日東交通バスを使うことがあります。自宅近くから木更津駅までバスに乗るのですが、バス時刻の確認のために日東交通さんの運輸部に電話をしたところ女性の職員の方が電話口に出られて、バスの時間を教えていただいたんですけ</p>

	<p>ども、最寄りのバス停の系統だと電車の時刻にちょうど合う便がなかったもので諦めて電話を切ったのですが、しばらくしたら、もう一度その方から電話かかってきたのです。</p> <p>女性職員さんから「お客様、大変お忙しいところ申し訳ありません。」とあった後、「お客様のご自宅近くの別のバス停の系統ですと電車の時刻にちょうど良いですよ。」と教えてくれたのです。そして、話を聞いているうちにそのバスは小湊鉄道さんが運行するバスだということも分かり、利用者の為を考えて他社のバスを教えてくれたことに気付きました。</p> <p>そして、さらに驚いたことに、それで終わるかと思いましたが、「どうぞお気をつけてお出かけなさってください。」と言葉を添えられたことで、大いに心を打たれる経験となりました。</p> <p>その時、私は、まさにこれこそ公共交通の根本精神でないかと思ったのです。</p> <p>日東交通さんの運輸部の女性職員の方の素晴らしい対応で、非常に良い経験をいたしましたので改めて感謝を申し上げさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>轟会長</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>おっしゃる通り利用者の立場では、どの事業者でもどの路線でも、目的地に行くことができるということが重要だと思います。</p> <p>心温まる良いお話をいただきました。</p> <p>それでは、報告事項について委員の皆様から何か確認したい点やご意見等はございますでしょうか。</p> <p>成田委員</p> <p>資料5の富来田地区自家用有償旅客運送の実施状況に関するのですが、輸送運行結果を令和4年と5年を比較しますと物価高騰もある中で、支出額が増加していることがわかります。</p>
--	---

	<p>利用されてる方がご高齢の方々ということもあり、収支改善のために直ちに運賃の調整を行うことは難しいと思うのですが、自家用有償旅客運送の運賃については、先ほどの運賃協議会の対象とならず、本協議会で決められるものだと考えています。</p> <p>この運賃というのは、ただ物価に合わせて上げるだけではなくて、運行する範囲が変われば例えば今ここにある富来田地区内とか、おどや、ほたるの眼科の地区外目的地の運賃の変更の可能性もあるかと思えます。</p> <p>もし運賃協議会の開催が必要となるとかなりの時間がかかってしまうと見込まれますので、事前に運輸局の輸送担当に自家用有償旅客運送の運賃改定の手続きを確認したうえで、先のことを考えると良いかと思えますので、1点ちょっと情報として述べさせていただきました。</p>
事務局	<p>自家用有償旅客運送に関する運賃については、協議運賃ではなく旅客から収受する対価になりますので、こちらの地域公共交通活性化協議会内で議決を図るものであると確認しております。</p>
轟会長	<p>その他、報告に関してのご質問ご意見等はございますでしょうか。</p> <p>では、私からも1点だけ、資料5「富来田地区自家用有償旅客運送の実施状況」の令和5年度収支についてですが、令和4年度と比較して、補助金額が市の補助と国の補助の比率がことなっているのは、どういった理由なのか教えてください。</p>
事務局	<p>市の補助対象運行期間が4月から3月であり、国の補助対象運行期間が10月から9月と異なっていることから、期間内における収入支出のずれが補助金額に表れているものです。</p>

<p>轟会長</p>	<p>対象とする期間の違いによって、支出と収支が変わってくるということですね。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>その他何かご質問ご意見等ございますでしょうか。</p>
<p>神蔵委員</p>	<p>バス運転士の就業のことでお伺いさせていただきます。</p> <p>公共交通事業者は安全対策に考慮しないといけないと思っています。</p> <p>運転士の募集については正社員を採用するというのが目的だと思っておりますが、柔軟な勤務体系を設定してパート社員を募集する等のお考えがあるか、または既に採用しているという状況はありますでしょうか。</p>
<p>深山委員</p>	<p>短時間勤務の勤務体系自体は募集を行っており、面接の際に勤務時間の都合も聞いて希望に沿うようにしようと考えてやっています。</p>
<p>神蔵委員</p>	<p>もう1点よろしいでしょうか。</p> <p>スクールバスを運行している学校が多い地域なので、運転士さんも多いのではないかと思うのですが、スクールバスを運行していない時間帯にそういう方たちの協力を仰ぐということは考えられないでしょうか。</p>
<p>深山委員</p>	<p>学校で運営しているスクールバスの運転士さんに、ダブルワークで当社のバス運転士として働いていただくというのは難しいと思っています。</p> <p>バス運転士が特に必要な時間帯はどうしても朝夕であり、スクールバスも同じ時間帯に運行してる可能性が高いという課題があると考えます。</p>

<p>轟会長</p>	<p>アイデアとしての運転士の共用もあるとは思いますが、ニーズと働ける時間帯が合致するかということもあり、非常に難しい、マッチングの問題があるかと思いました。</p> <p>しかしながら、実態調査をしたうえで、もし、何らかの工夫によりうまくマッチングができるかどうかは検討に値するかなと思いました。</p> <p>その他に何か確認したい点やご意見等ございますでしょうか。</p> <p>活発に議論いただきましたが、大変難しい問題、そして新たな問題等もたくさん出てきております。</p> <p>こういったことも含めて冒頭にも言いましたが、令和5年3月に地域公共交通計画策定しており、それに基づいて計画を進めていますので、進捗管理や適宜見直ししながら進めていくべきかと思いました。</p> <p>次回はそういったことについての報告等、進捗状況等もいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは「5 その他」に移ります。</p> <p>事務連絡となりますので、事務局からお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員任期についてお話をさせていただきます。</p> <p>委員の皆様には本市の交通行政にご協力いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>この協議会の委員の任期は、協議会規約第8条の規定により2年とされており、この任期が本年6月28日に満了となります。</p> <p>既に、皆様の組織から新たな委員をご選出いただいております、また、事務局にて公募委員の選考も終了しているところです。</p>

	<p>次期の委員をお引き受けいただける皆様におかれましては、引き続き、どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>轟会長</p>	<p>以上で、予定された議事が全て終了しましたので、議長の任を降りさせていただきます。</p> <p>円滑な議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
<p>事務局</p>	<p>轟会長、ありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして、令和6年度第1回木更津市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。</p> <p>次回開催は、11月ごろを予定しております。</p> <p>なお、詳細は近くなりましたら文書にてお知らせさせていただきます。</p> <p>それでは、お忙しい中、長時間にわたり、貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>